

『いのちの手紙』

説明：

去年の夏に兵庫県丹波市で、1頭の恐竜の化石が数十片発見されたことは、本当に日本のビッグニュースです。谷川のそばで発見されたことは、息が絶える前に水が飲みたかったのかもしれない。今から1億2千万年以上も前、という気の遠くなるような大昔に生物がいて、その生きていた証拠を私たちに伝えるということは、何と素晴らしいことでしょう！恐竜が私たちによこした化石の手紙は、地球が生きものの場所として永く存在してきた事を証明しています。今の地球は空気・水、土地の汚れによって温暖化や緑の減少を招き、環境の破かい、による地球の滅びが世界的な大問題となっています。今の地球人は恐竜の知らせのように、今後1億年を越えて子孫に歴史の手紙を残さねばなりません。その意味で丹波竜はまさに「いのちの手紙」と言えるでしょう。

作者：大家 涼（神奈川県秦野市）